様式３(2020.08改)

作成日　令和2年10月23日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391200264
事業所名	グループホーム　みんなのざいしょ

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	コロナ禍で、地域のイベントは中止となっている。ホームは3密・喚起の対応を徹底し、できる限り地域交流を継続している。ホーム内イベントに地域住民の参加があり、交流の際に地域の情報も収集している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	コロナ禍においても、感染対策に注意し、2ヶ月毎に会議を開催している。民生委員や地域代表、組合員などが参加し、毎回にぎやかな集会となり、意見交換を行っている。ホームの活動報告や地域の情報を共有している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	市の担当とは、窓口や電話で、ホーム運営における報告・連絡・相談を通じ、適切に連携している。コロナ禍以前は、地域包括支援センターと運営推進会議を通して連携を取り、地域高齢者介護を話し合っていた。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	一例としては、コロナ禍の面会方法について、書面や口頭で連絡を行った際、様々な方法の提案を受けている。結果、検温・手指消毒など感染対策を施し、家族は随時面会可能としている。他の事例についても、アンケート実施や直接面談等で、意見の聴取を実施し、対応している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

備考欄】

コロナ禍においても、感染対策に注意し、2ヶ月毎に会議を開催している。地域包括支援センターは出席を見合わせている。

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	－	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										